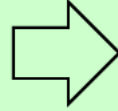


大区画化で導入した大型機械のリース事業や農家レストランで多角経営 ～アグリ古川農産（株）～

経営体の概要

法人設立前：平成23年
基幹作物：水稲、施設ぶどう
経営面積：5.3ha



現在：平成29年
基幹作物：水稲、施設ぶどう、施設野菜
経営面積：26.5ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成24年3月に会社を設立し、農地の集積による大規模化を図るとともに、会社所有の農機具を地域の農家に貸出し、農機具の効率的な運用を行っている。また、農機具を各農家にリースすることで、各農家が機械のオペレーターとして成長することに繋がっている。さらに、6次産業化の取組として、農家レストランを運営しており、多角的な農業経営を営んでいる。

営農改善のポイント

① 省力化

大区画化した農地を集積し、大型機械を導入することで、作業効率が向上し、農業用水が安定確保されたことで水管理の手間が軽減された。これにより事業前は夫婦2人で数haの水田とハウス栽培の経営であったが、現在は、水田の経営面積を拡大しながら奥さんはぶどうと野菜栽培に専念できるようになった。

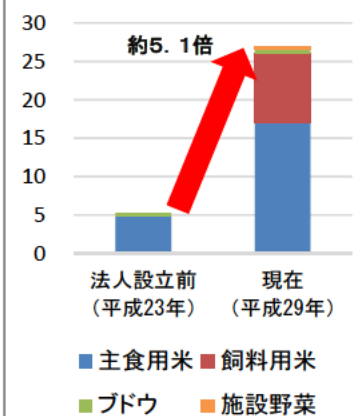
② 流通・販売の工夫

米は、5kg袋、300g×3個セット等、少量で販売価格の高い商品の直売や郵送販売に取り組んでいる。ぶどうは、毎年、出荷時期にテレビの取材を受け、数種類のぶどうを組み合わせ、“ぶどうの宝石箱”として販売している。また、生産した農産物は運営する農家レストランで提供する等、6次産業化を図っている。

③ 地域へ及ぼす影響

農業機械の更新は農家が農業をやめるきっかけになることから、導入した大型機械を経営規模の小さい農家に安くリースして地域の農業を支援している。また、本経営体にとっても農業機械の稼働率の向上、オペレーター人材の育成と確保につながっている。

(ha) 作付面積の変化



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：大崎市、美里町、加美町
受益面積：4,621ha
事業期間：昭和62年～平成17年
事業目的：用水改良、排水改良、区画整理
主要工事：頭首工4箇所、排水機場1箇所
用水路L=20.2km、排水路L=0.4km

位置図（宮城県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(平成29年度調査時点)